

寶瀧山延命院 瑠璃光寺

所在地： 埼玉県富士見市諏訪 1—8—3

宗旨・宗教： 天台宗

本尊： 薬師如来（鶴馬薬師）



<山門・本堂を見る> ↑

■瑠璃光寺は「七沢八寺」の八寺のひとつ

富士見市ホームページ「観る・楽しむ・学ぶ」⇒「市内のみどころ」⇒
歴史探訪『ふじみ・発見!』No. 2…「七沢八寺」より引用

江戸時代に編纂された「新編武蔵風土記稿」の鶴馬村には八つの寺院が記されています。すでに廃寺になったものが多く「八寺」のうち現在もお堂が残るのは来迎寺・浄円寺・瑠璃光寺の三寺院だけです。

山門



本堂



↑本堂は平成22年（2010）に建て替えられました。



堂内



釈迦十大弟子

薬師如来十二神将

伝教大師・天台大師

■天然記念物（富士見市指定）



榲（カヤ）はイチイ科の常緑針葉樹。通常榲の大木はめずらしいといわれます。

■寛政2年銘（1790年）の六地藏



■元治元年（1864年）銘の宝篋印塔→

■嘉永6年（1853年）銘の千手観音像



■富士見市の石地藏（リスト71）

造立年月日 昭和51年（1976年）

■由来・・・「関東九十一お薬師霊場めぐり」資料より（引用）



寶瀧山延命院瑠璃光寺は、平安末期鶴馬の中心折戸の地に、薬師瑠璃光如来を本尊に祀り開創されたと伝えられる。

本尊の薬師如来は、木彫坐像、二尺一寸、室町初期の作と伝える。以来、地元の人々に『鶴馬薬師』として、眼病治癒等に効験ありとされて篤く信仰され、正月元旦には薬師護摩が焚かれ、参詣の善男善女に薬師護摩札が出されている。

開山の實圓法印は安元2年（1176年）の示寂と伝えられ、境内にその石塔がある。

現在の本堂（*）は、寛永年間（1624～44）第14世實全法印が再建したもので、境内に庫裡、山門、江戸時代に創建された山門等が建ち並んでいる。

境外佛堂に、薬師堂（上沢）、観音堂（渡戸）、来見堂（羽沢）、三光院（鶴馬）等がある。

*この資料には発行日付がないが、郵便番号が3桁、市外局番が4桁の頃に発行されている。

↓↓↓この資料に載っている写真を貼付↓↓↓



山門



本尊 鶴馬薬師
(木彫坐像、二尺一寸、室町初期)



本堂 (寛永年間再建)

記載日：2014/5/4

この内容は、「郷土富士見検定問題集」、「富士見市ホームページ」、資料「関東九十一お薬師霊場めぐり」等から、記載しています。